

- 周波数資源開発シンポジウム2004の開催

- 平成16年5月11日

近年、社会の情報化の進展により、電波の利用は多様化するとともに電波利用に対する需要は急増しています。このような電波利用環境の変化及び電波利用に対する需要の増大に対し、将来とも安定した周波数の供給を図るためには、利用できる周波数帯の拡大を図るとともに、既に利用されている周波数帯の効率的利用を促進する必要があります。このため、独立行政法人情報通信研究機構では、平成5年より毎年周波数資源開発シンポジウムを開催し、周波数の有効利用を可能とする最新技術等に焦点を当て、様々な観点からの講演会を行ってきました。

6月4日(金)明治記念館において、独立行政法人情報通信研究機構と社団法人電波産業会の共催により「周波数資源開発シンポジウム2004」を開催いたします。今回は、「これからの無線通信を考える」というテーマで、第3世代やその次の世代の携帯電話や新たな無線通信として注目されつつあるピアツーピア通信、コグニティブラジオ、ミリ波を用いたパーソナルエリア通信など、周波数の有効利用を図りつつ、より高度かつ多様な無線通信サービスの実現に資することを可能とする先端的な技術について、各テーマの第一人者にお話をいただきます。ぜひこの機会にご参加ください。

- 1 日時 : 平成16年6月4日(金) 13時より
- 2 場所 : 明治記念館 (東京都港区元赤坂2-2-23)
- 3 主催 : 独立行政法人 情報通信研究機構
社団法人 電波産業会
- 後援 : 総務省(予定)
財団法人電気通信普及財団
- 協賛 : 情報通信月間推進協議会
- 4 申し込み方法 : 以下のHPよりお申し込み下さい。
<http://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>
- 5 参加費 : 無料
- 6 内容 : 講演 5件 (同時通訳つき)
- 7 プログラム : 別紙

<問い合わせ先>

総務部広報室

柳光(リュウコウ)広文、大野由樹子

Tel:042-327-5392

Fax:042-327-7587

<会議内容問い合わせ先>

横須賀無線通信研究センター

磯部俊吉

Tel:046-847-5078

Fax:046-847-5079

情報通信月間参加行事
周波数資源開発シンポジウム2004
 ～これからの無線通信を考える～

時 間	次 第	講 師
12:30	開場	
13:00	開会	
13:00～ 13:05	開会挨拶	独立行政法人情報通信研究機構 理事 塩見 正
13:05～ 13:10	来賓挨拶	総務省総合通信基盤局 電波部長 竹田 義行
13:10～ 14:00	講演1 3G及びBeyond 3GのためのTD-CDMA技術－ 高速伝送とアドホック構成	慶應義塾大学 Prof. Riaz Esmailzadeh
14:00～ 14:50	講演2 中国における3G及びBeyond 3Gの研究開発 動向	Tsinghua University(精華大学) ChinaProf. Jing Wang(王京)
14:50～ 15:10	(休憩)	
15:10～ 16:00	講演3 モバイルネットワーク上でのピアツーピアアプ リケーション	Centre for Telecommunications Research, King's College London Dr. Hamid Aghvami
16:00～ 16:50	講演4 将来の適応的、自己構築ワイヤレスネットワー クを構成するためのコグニティブラジオ	WINLAB, Rutgers The State University of New Jersey , USA Prof. Dipankar Raychaudhuri
16:50～ 17:40	講演5 ミリ波パーソナル通信システムの標準化動向	情報通信研究機構横須賀無線通信研究 センター 研究センター主管 小川 博世
17:40～ 17:45	閉会挨拶	社団法人電波産業会 専務理事 若尾 正義
17:45	閉会	

(英語の講演には日本語の同時通訳が付きます)